

# CSR 報告書 2021

## 編集方針

本報告書は、三愛石油グループの2020年度のCSR(企業の社会的責任)活動をステークホルダー\*のみなさまに分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

\*ステークホルダー：お客さま、取引先、株主、地域社会、従業員ほか、三愛石油グループを取り巻く人たちのこと。

## 報告対象範囲

三愛石油(株)の活動を中心に、三愛石油グループ全体やグループ各社の活動について取り上げています。

## 報告対象期間

2020年度(2020.4.1~2021.3.31)を基本としています  
が、一部2021年度の発行時点までの事象も含んでいます。

## 発行時期

2021年12月(次回発行予定 2022年10月)

## 免責事項

本報告書には、将来予測も記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、実際の活動結果が予測と異なる可能性があります。



三愛石油株式会社は、2022年4月1日、  
三愛オブリ株式会社(英文: SAN-AI OBBLI CO., LTD.)へ商号変更いたします。

お問い合わせ先:

三愛石油株式会社  
CSR推進部

〒100-8154  
東京都千代田区大手町二丁目3番2号  
TEL: 03-6880-3812  
FAX: 03-6880-3033

三愛石油(株)ホームページ  
 <http://www.san-ai-oil.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。





# 三愛石油は、「三愛オブリ」へ。

三愛石油(株)は、創業者 市村清が唱えた三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」を経営理念とし、人や社会に報いる役割を果たしてきました。  
サステナビリティが求められる時代にあって、その役割はさらに強いものになっています。  
柔軟な対応力で、新しい課題解決に挑戦していくこと。  
これまでのつながりに感謝し、それを未来へ活かしていくこと。  
三愛石油(株)は創立70周年を迎えるにあたり、経営理念である「三愛精神」と、コーポレートブランド「Obbli」のもと、新たな事業領域へ挑戦する姿勢を示すため、2022年4月1日「三愛オブリ株式会社」に商号を変更します。

**Obbli**  
SAN-AI OIL GROUP

Obbligare

Obbligato

Obbligo

結びつける

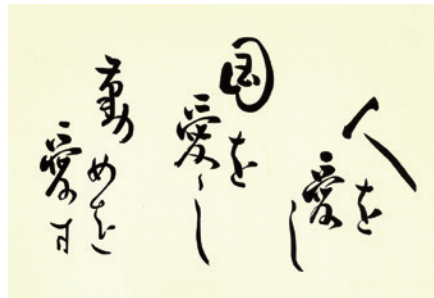
旋律的な伴奏

感謝の気持ち

また、以下の関係会社7社においても商号を2022年4月1日より変更し、経営理念を軸に新たなスタートを切ります。

|                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 国際油化株式会社          | → 三愛リテールサービス株式会社     |
| 三愛プラント工業株式会社      | → 三愛オブリテック株式会社       |
| 東日本三愛石油株式会社       | → 三愛オブリ東日本株式会社       |
| 北陸三愛石油株式会社        | → 三愛オブリ北陸株式会社        |
| 中国三愛ガスサプライ株式会社    | → 三愛オブリガスサービス中国株式会社  |
| 株式会社三愛ガスサービス      | → 三愛オブリガスサービス九州株式会社  |
| 三愛石油カスタマーサービス株式会社 | → 三愛オブリカスタマーサービス株式会社 |

## 経営理念の実現



創業者 故 市村清社長の経営理念

三愛石油グループは、経営理念である三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」を軸に倫理行動憲章を制定し、グループ全体でより良い社会の発展に貢献することを目指しています。

- ふれあうすべての人々の人格を尊重し、分け隔てのない人間関係を築きます。
- 企業活動を通して、より良い社会の発展に貢献します。
- 仕事に誇りを持ち、自律的、創造的に行動します。

## Index

### ビジョンと価値創造ストーリー

- 03 価値創造のあゆみ
- 05 事業概要
- 07 価値創造プロセス
- 09 トップコミットメント
- 11 中期経営計画と2030年度に目指す姿

### SDGs・ESGの取り組み

- 13 活動の総括
- 15 環境への取り組み
- 18 労働慣行／人権への取り組み
- 21 コミュニティへの参画
- 23 組織統治
- 25 リスクマネジメント
- 26 コンプライアンス推進

### データハイライト/企業情報

- 27 財務データ
- 28 環境負荷データ
- 29 社会性データ
- 30 三愛石油グループの概要



# お客さま、地域、社会とともに 新たな価値を創造してきました

1952年、三愛石油(株)は石油製品の販売を目的として、スタンダード・ヴァキューム石油会社の代理店として発足しました。お客さま、地域、社会とともに歩みを進め、2022年に創立70周年を迎えます。当社グループは次の時代に向け、社会との共有価値を創造し続ける企業グループとして今後も成長を加速していきます。

石油

1959



## 本格的給油所第1号を開設 自動車の普及に貢献

1959年、三愛石油(株)は本格的なサービスステーション経営に乗り出し、神奈川県相模原市に相模原給油所を開設しました。その後、原油輸入の外貨割当制度撤廃を皮切りに、石油元売各社によるサービスステーションの建設が急速に進められ、三愛石油(株)も営業所のネットワークづくりとともに全国へサービスステーションを展開していきました。

石油

2004



石油元売会社であるキグナス石油(株)の全株式を取得

石油

2008

国際油化(株)の全株式を取得



ガス

2002



佐賀市ガス局の民営化に伴い、佐賀市営ガス事業を譲受運営するため、佐賀ガス(株)を合併で設立

ガス

1960



## 国内最大の貯蔵能力を誇る LPガス冷凍貯蔵タンクを建設 パイオニアとして業界の発展に貢献

1960年、LPガス需要が急増したことを受け、神奈川県のカキガハ工業地帯にLPガス冷凍貯蔵タンクを建設しました。100tを誇る貯蔵能力は国内初で、三愛石油(株)は冷凍貯蔵タンクのパイオニアとして業界の発展に貢献しました。こうして、LPガス事業は航空燃料給油事業と石油販売事業に次ぐ第3の柱としてスタートしました。

化学

1969

研究所を設置し、泡消火剤、防カビ剤、防錆剤などの開発・製造・販売に着手

航空

1955



## 日本初、 ハイドラントシステムによる給油を実現 航空燃料給油事業の発展を牽引する

1955年、三愛石油(株)は日本初のハイドラントシステム(地下パイプラインで航空機まで航空燃料を圧送するシステム)による航空機への給油業務を開始しました。以降、そのハイドラント技術と施設運営および給油業務にかかるノウハウは、国内主要空港や海外の諸空港に広く展開されています。

# 上流から下流まで、幅広い顧客に向けてエネルギーやサービスを提供しています

## 石油関連事業

### 石油製品販売業

特約店への卸売や需要家向けなどの産業用燃料および潤滑油の販売、サービスステーションでの小売販売を通して全国に石油製品を供給しています。

サプライチェーン



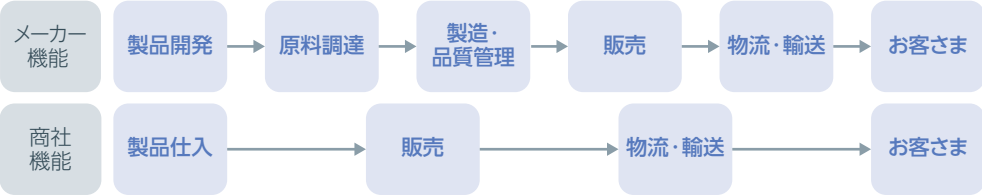
主要な油槽所

4ヶ所  
サービスステーション(系列)  
全国約1,050ヶ所

### 化学品製造販売業

工業用防腐・防カビ剤や自動車用ケミカル商品などの開発・製造・販売と、商社としてお客さまのニーズに沿った化学品の販売を行っています。

サプライチェーン



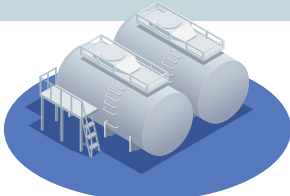
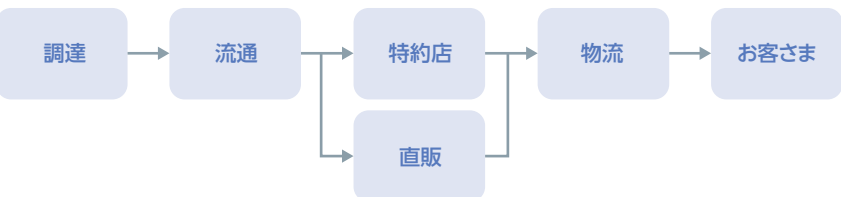
製造販売  
している製品  
約700製品

## ガス関連事業

### LPガス販売業

家庭用から業務用までのLPガスの販売、また、産業用の一般高圧ガス、エアゾール用脱臭ガス、特殊ガス、オートガスの販売を行っています。

サプライチェーン



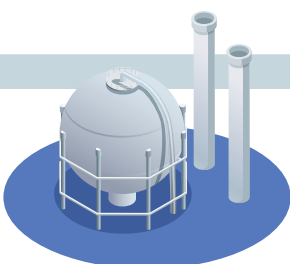
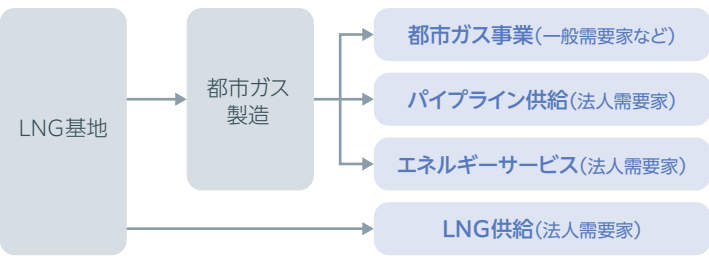
LPガスの充てん所(エアゾール用含む)

10ヶ所  
特約店  
全国343店

### 天然ガス販売業

全国の工場などに省エネ・省コスト構築のための総合エネルギー供給システムを提案し、天然ガスを販売しています。また、佐賀ガス(株)では一般家庭向けの都市ガス供給も行っています。

サプライチェーン



天然ガス導管網の総延長

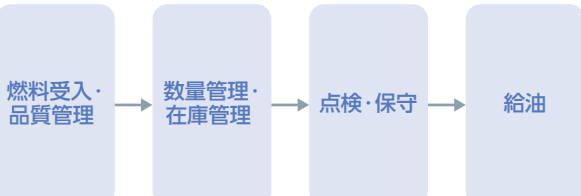
384 km  
(三菱石油(株): 39km、佐賀ガス(株): 345km)  
三菱石油(株)の  
大口ガス供給件数 24件  
2020年度CO<sub>2</sub>削減量  
(天然ガスの燃料転換による)  
約20,890 t

## 航空関連事業他

### 航空燃料取扱業

羽田空港でのハイドラントシステム(三菱石油(株)が開発した地下パイプラインによる給油システム)による航空燃料取扱業務のほか、各地の空港で航空燃料取扱業務を行っています。

サプライチェーン



羽田空港における三菱石油(株)の航空機への給油便

約350便/日  
※新型コロナウイルス感染症の影響により、  
実際の給油便数は約半数となった。  
三菱石油グループが航空燃料取扱業務を担う拠点  
全国20ヶ所

### その他

建設工事業、クリーンテック事業のほか、遊休地などを活用し太陽光発電所を運営しています。

三菱石油(株)の太陽光発電所

4ヶ所  
クリーンテック事業の金属表面処理技術  
特許8件



(実績は2021年3月末時点)



総合的なソリューションを提供し、  
人々の生活と産業を支えることで、さらなる価値

三愛石油グループは、経営理念を実現するために基本姿勢と行動基準を定め、中期経営計画に基づいた事業活動を行い、企業価値の向上を目指しています。目まぐるしい社会変化に対応するため、10年先の事業環境を俯瞰し、基幹事業の強化・拡大を図るとともに社会課題の解決と新たな共有価値の創造に取り組んでまいります。

創造を実現します







## 「安心感」という ブランド価値をもって、 変革へ挑戦

代表取締役会長  
金田 準

はじめに、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、感染症に罹患されたみなさま、および関係者のみなさまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ感染症拡大防止にご尽力いただいている方々に心から感謝申し上げます。

### 新たな価値創造を目指し、 「三愛オブリ株式会社」へ

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、社会的・経済的に人々へ大きな影響を及ぼしました。これまで盤石と信じてきたものでさえ思わぬきっかけで脆くも崩れる、このコロナ禍で誰もが痛感したことでしょう。しかし、社会は変革を繰り返し、その時代に即したシステムを構築していきます。そして、そこにはイノベーションの創出が必要不可欠です。これからは、創造性とそれを実現する力を備えた企業・人材が社会を牽引していくと考えています。総合的なソリューションを提供する当社グループは、柔軟な対応力で新しい課題の解決に取り組み、社会との共有価値を創造していきます。

新たな事業領域へ挑戦する姿勢を示すため、2022年4月より、商号を「三愛石油株式会社」から「三愛オブリ株式会社」に変更します。同時に、関係会社7社においても商号を変更し、経営理念である三愛精神を軸に新たなスタートを切ります。社会構造や人々の価値観は常に変化するものですが、私は経営理念を追求することで社会との共有価値が生まれるものと信じています。そして、当社グループの経営理念である三愛精神はどの時代にも通じる普遍的な経営への信念を表しています。社会変革が進む時代において、私たちは経営理念という不変の価値観をもって未来へ挑戦し続けます。

### 企業成長の礎は人材育成

企業が成長するための礎を築くのは人材です。当社グループは、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと自らの力を発揮するための基盤を整えています。

健康経営では、現状分析から課題を明確にし、各種施策に取り組むべく健康経営戦略マップを策定しました。社員の健康リテラシーの向上のために、オンラインセミナーやeラーニングを活用した教育を積極的に実施しています。今年は三愛石油(株)の「健康経営優良法人2021」継続認定に加えて、中小規模法人部門にて関係会社2社が初めて認定されました。従業員の身体的な幸福度を高めることで個人の能力が十分に発揮され、生産性の向上に結びつきます。さらに、会社へのエンゲージメントが高まるよう有給休暇の取得促進やダイバーシティ研修の開催など、取り組みを進めていきます。

### 挑戦的な組織風土の醸成

これまで当社グループは、お客さまに真摯に寄り添い、時代の流れに即した商品やサービスを提供することで信頼を獲得してきました。その実直な組織風土は当社グループの強みであり、ステークホルダーのみなさまへ提供する安心感につながっているものと考えています。そのうえで、これからの時代に必要となるのは実直かつ挑戦的な姿勢です。本年度よりスタートした中期経営計画では、事業戦略の実効性向上に向けた人事制度の再構築、人材活用基盤の整備と専門人材の確保を取り組み方針に掲げています。当社グループは、安心感というブランド価値を高めるとともに、これからの時代に必要とされる企業グループとなるため、あらゆる分野への挑戦を加速していきます。



## 新たな成長軌道の スタートラインに立つ

代表取締役社長  
塚原 由紀夫

### 新中期経営計画 ～変貌する未来への挑戦 Challenge2030～ がスタート

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞が続き、先行きについてはワクチン接種の効果が期待される一方で、変異株の感染拡大が懸念されるなど依然として不透明な状況となっています。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化や自動車の燃費向上などによる石油製品の需要減少に加えて、2050年カーボンニュートラルへの潮流が加速するなど大きな転換期を迎えています。エネルギー業界に身を置く当社グループは、事業環境の変化と課題に向き合いながらサステナビリティの視点を経営戦略に組み込むことで社会から求め続けられる企業グループを目指していきます。

当社グループは、急激に変化する環境に機敏に対応し新たな価値創造へ挑戦するため、2030年を基準に「低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオの進化」を新たなビジョンとし、中期経営計画を策定しました。本年度よりスタートした「変貌する未来への挑戦 Challenge2030」では、成長のための経営基盤の再構築期と位置付け、基幹事業の効率化と事業間の連携強化を図るとともに、成長分野への投資や人材の確保と育成により一層注力していきます。

### サステナブルな社会を創造する

今や世界共通のキーワードである「サステナビリティ」は、社会と企業の成長にとって不可分な関係にあります。国内においては、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指すことを宣言し各企業が気候変動への対応を加速しています。当社グループは2030年を見据え確実な低炭素・循環型社会への対応に取り組んでいきます。

2020年度、航空関連事業においてはCO<sub>2</sub>排出量の少ないSAF<sup>※1</sup>の受入・給油を行い航空会社の取り組みに協力したほか、車両の燃料にバイオディーゼルを使用し環境配慮を意識した運営を推進しています。今後も、電気自動車の導入拡大や水素供給設備の研究・投資、太陽光発電設備を事務

所内に設置するなど視座を高めて取り組んでいきます。

ガス関連事業では、ガス事業部でLPWA<sup>※2</sup>の導入を開始しました。今後、配送効率化・業務効率化を図ることにより、保安の高度化および配送車の燃料削減による環境負荷低減が期待できます。また、天然ガス部では、重油などほかの燃料から天然ガスへの燃料転換や省エネ機器の導入推進に努めました。今後も当社の強みであるエネルギーソリューションの提案力を最大限に生かしていきます。

石油関連事業では、現在モビリティの進化に合わせた業態開発を進めており、その中でサステナビリティの観点から時代に求められる価値提供の実現を目指しています。

新しくスタートした中期経営計画のもと、サステナブルな社会の実現に向け各事業で取り組みを進めていきます。気候変動への対応とともに、石油・ガス・航空燃料など社会インフラを担う企業の責務として、石油製品出荷基地や航空機給油施設の安全確保と運営に万全を期し、エネルギーの安定供給に努めることで人々の生活と産業を支えるパートナーとして成長し続けます。

### ステークホルダーのみなさまへ

当社グループは、経営理念である三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」とコーポレートブランドである「Obbli」を核として、人や社会に報いる役割を果たしてきました。今後もさらに成長し続ける企業グループの実現に向け、2022年4月に三愛石油株式会社は「三愛オブリ株式会社」へと商号を変更するとともに、新たな事業領域へ挑戦していきます。今後とも、みなさまの変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。本報告書につきましても、ぜひ忌憚のないご意見を頂戴できれば幸甚に存じます。

※1 SAF:Sustainable Aviation Fuel。原材料の生産・収集から燃焼までの過程でCO<sub>2</sub>の排出量が少ない持続可能な供給源から製造されるジェット燃料。

※2 LPWA:Low Power Wide Area。長距離の通信を低消費電力で実現できる無線通信技術の総称。

# 中期経営計画 ～変貌する未来への挑戦 Challenge 2030～

低炭素・循環型社会の実現を念頭に、成長領域への積極的な資源配分を行うことで、成長性の高い事業ポートフォリオを構築していきます。



## 成長実現のための経営基盤の再構築

### 事業戦略

- 1 石油関連事業の効率化と他事業への経営資源の拠出
- 2 成長可能性のある事業へのM&Aを含めた投資
- 3 事業間連携によるさらなるシナジーの創出

### 組織基盤

- 4 グループマネジメント体制の進化
- 5 変革を生む挑戦的な組織風土の醸成

2023年度財務目標

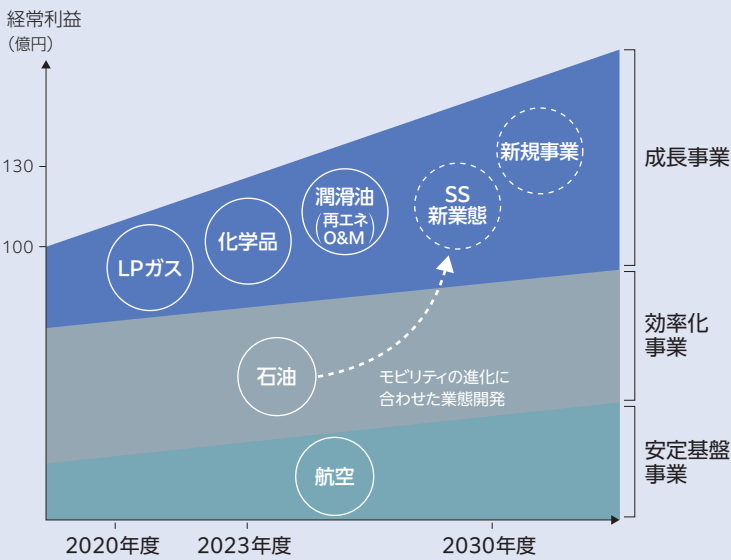
連結経常利益  
**130** 億円以上

連結ROE  
**8** %以上

連結配当性向  
**30** %以上

## 低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオへの進化

### 事業ポートフォリオの進化



### 成長事業への戦略的投資

|        |        |
|--------|--------|
| 成長事業   | 安定基盤事業 |
| 300 億円 | 400 億円 |
| 効率化事業  | 全社共通   |
| 250 億円 | 50 億円  |

詳細はホームページをご覧ください [http://www.san-ai-oil.co.jp/ir/m\\_business\\_plan/index.html](http://www.san-ai-oil.co.jp/ir/m_business_plan/index.html)



持続可能な社会の実現に向けて

昨今、私たちを取り巻く環境の変化はそのスピードを増し、コロナ禍によって不確実性が顕在化されたことで、先行きの予測が困難な時代となっています。企業にとっても、利益を確保しつつCSRを推進し社会的責任を果たすことが不可欠とされ、相互関係にある社会と企業には本当の意味での「持続可能性」が求められています。当社グループは、健全かつ透明性の高い経営のもと、環境課題・社会課題に柔軟に対応し、持続可能な社会の発展へ貢献することで企業成長を果たすとともに、ステークホルダーのみなさまからの信頼をより確かなものとしていきます。

SDGsとは

2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」は、2030年に向けて解決すべき世界の課題(17の目標、169のターゲット)で構成された世界共通の目標です。



| 領域                                     | 主な取り組み内容               |                                                                                                                                                                                                                                                                             | 関連するSDGs | 参照ページ   |
|----------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------|
| <div>環境</div> <div>Environment</div>   | 再生可能エネルギーの活用／循環型社会への貢献 | <ul style="list-style-type: none"><li>環境配慮型製品の拡販</li><li>遊休地における太陽光発電事業</li><li>風力発電システムへの貢献</li><li>再生可能燃料の取り扱い推進<br/>および水素供給設備の研究・投資</li><li>電気自動車の導入</li><li>「三愛石油オプリの森」体験型環境研修</li><li>PRTR法に該当しない商品の製造販売</li><li>化学物質の適正管理</li><li>バイオマス発電効率化に向けた総合ソリューション提供</li></ul> |          | P.15-16 |
|                                        | 省エネルギー・省資源の追求          | <ul style="list-style-type: none"><li>工場、SSからの排水管理</li><li>ISO14001認証継続</li><li>LPWA導入による配送効率化を通じたCO2削減</li><li>SSにおける「ECO通気口」の設置</li><li>防腐・防カビ剤の開発・販売によるVOC排出量低減</li><li>省エネルギー診断</li></ul>                                                                               |          | P.17    |
| <div>社会</div> <div>Society</div>       | 労働慣行／人権                | <ul style="list-style-type: none"><li>個人情報管理委員会</li><li>有給休暇取得の推進</li><li>リスクアセスメント</li><li>品質保証委員会</li><li>年金ライフプランセミナー</li><li>各種研修</li><li>次世代育成への取り組み</li><li>健康経営の推進</li><li>人権教育</li><li>女性社員活躍の推進</li><li>安全運転講習</li></ul>                                           |          | P.18-21 |
|                                        | コミュニティへの参画             | <ul style="list-style-type: none"><li>地域活動、イベントへの協賛</li><li>ボランティア活動</li><li>学生活動支援</li></ul>                                                                                                                                                                               |          | P.21-22 |
| <div>ガバナンス</div> <div>Governance</div> | 組織統治                   | <ul style="list-style-type: none"><li>取締役会</li><li>CSR委員会</li><li>監査役会</li><li>内部統制委員会</li><li>コーポレートガバナンス・コード開示</li><li>決算実務説明会</li></ul>                                                                                                                                  |          | P.23-24 |
|                                        | リスクマネジメント              | <ul style="list-style-type: none"><li>危機管理委員会</li><li>環境安全委員会</li><li>内部監査</li><li>環境安全監査</li></ul>                                                                                                                                                                         |          | P.25    |
|                                        | コンプライアンス推進             | <ul style="list-style-type: none"><li>倫理委員会</li><li>コンプライアンス意識行動調査の実施</li><li>公益通報・相談窓口の運用</li><li>コンプライアンス教育</li><li>ハラスメント防止教育</li></ul>                                                                                                                                  |          | P.26    |



エネルギーを取り扱う企業の責務として、資源とエネルギーの効率的利用を追求するとともに、環境負荷の抑制に取り組みます。

### 環境ビジョン

「三愛石油グループの倫理行動憲章」より下記の4つを環境ビジョンとしています。

- 私たちは、地球の環境を健全な状態で子孫に残すため、環境に配慮します。
- 私たちは、省エネルギー活動、廃棄物削減活動、リサイクル活動を通じて、環境への負荷の抑制、削減に取り組みます。
- 私たちは、エネルギー供給を担う者の責務として、資源とエネルギーの効率的利用を追求し、環境負荷の低い新エネルギーの開発・普及を推進します。
- 私たちは、企業活動の中で安全を最優先に考え、人や環境に対し危害を及ぼさないよう最大限の努力を払います。

## 再生可能エネルギーの活用／循環型社会への貢献



### 水素バリューチェーン推進協議会へ加入

三愛石油(株)、キグナス石油(株)

水素バリューチェーン推進協議会は、サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として社会実装プロジェクトの実現を通じ、早期に水素社会を構築することを目的として設立されました。三愛石油グループでは、航空関連事業での水素利用の可能性や、ビジネスモデルの検討を行っています。

### SAF※の受入・給油に協力

羽田支社

三愛石油(株)羽田支社では、CO<sub>2</sub>排出量の少ないSAFの受入・給油に協力しています。航空業界全体で気候変動への取り組みを進めている中で、SAFは世界の航空会社で導入・普及が展開されています。当社は、燃料の受入、品質



2021年2月、国内初となる国産SAFを給油

### 給油車両にバイオディーゼル※を使用

羽田支社

三愛石油(株)羽田支社では、給油作業車4台にバイオディーゼルを使用しています。また、電気自動車も1台導入し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。

※ バイオディーゼル：バイオマスエネルギーの一つで、生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料。バイオディーゼルは、使用しても地球環境上のCO<sub>2</sub>を増加させないことから、地球温暖化防止につながります。



燃料受入の様子

### 太陽光発電およびCO<sub>2</sub>フリー電気の使用

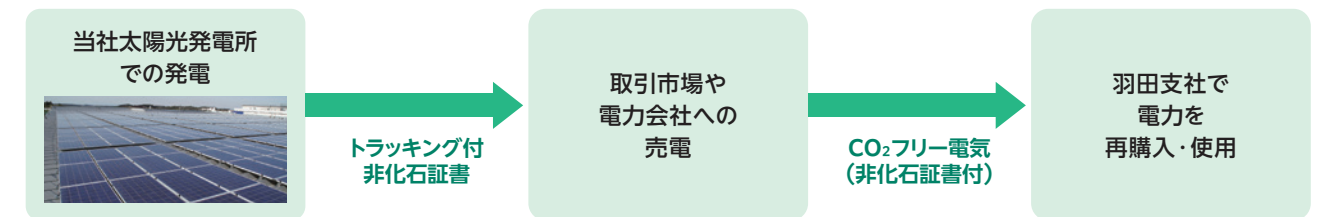
羽田支社

三愛石油(株)では、当社が太陽光発電によって得た電力の一部を売却し、羽田支社においてFIT非化石証書※付電力として再購入しています。これにより、羽田支社の電力使用量の約30%がCO<sub>2</sub>フリー電気となります。また、自家使用

の目的で2021年度中に羽田空港内の事務所に太陽光発電設備を設置する計画を進めています。

※ CO<sub>2</sub>を排出しない環境価値を示す証書

#### CO<sub>2</sub>フリー電気の発電から使用までの流れ



### 水素エネルギー社会の実現に向けてー水素ステーションの建設ー

三愛プラント工業(株)

三愛プラント工業(株)は、水素エネルギー社会の早期実現に取り組まれている岩谷産業(株)様運営の水素ステーション建設に携わりました。燃料電池自動車の普及のためには、水素ステーションなどのインフラ整備が必要不可欠です。三愛プラント工業(株)では、これまで全国6ヶ所の水素ステーション建設に携わっています。



イワタニ水素ステーション三重四日市 ©岩谷産業株式会社

### 「三愛石油オブリの森」体験型環境研修

三愛石油グループは、化石燃料を取り扱う企業の責務として自然環境の保護に努め、森林再生事業に協賛しています。2008年より「三愛石油オブリの森」体験型環境研修を継続開催してきましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しています。今後も、社会情勢に配慮しながら、森林再生事業へ貢献していきます。

#### 高知県、本山町および本山町森林組合と「協働の森パートナーズ協定」を締結

継続期間  
**14年目**

間伐体験者数  
**395名**

協定を結んだ森  
**202.08 ha**

間伐により再生した森が吸収したCO<sub>2</sub>  
**3,904t**



2019年度開催の研修にて



間伐作業体験の様子





## 省エネルギー・省資源の追求

関連する  
SDGs



### 天然ガスの高度利用によるエネルギーサービス(熱電供給)事業

天然ガス部 川崎エネルギーセンター

三愛石油(株)天然ガス部では、全日本空輸(株)ANA殿町ビジネスセンター内に川崎エネルギーセンターを設置し、天然ガスコージェネレーションシステムを活用した熱電供給を行っています。コージェネレーションシステムは、天然ガスを利用して発電と同時に蒸気や温水などを供給するシステムです。電力・蒸気・冷温水といったお客さまのニーズに合わせた最適なエネルギーを供給することで、エネルギーロスを最小限に抑え、省エネ効率を最大限に高めることが可能となります。

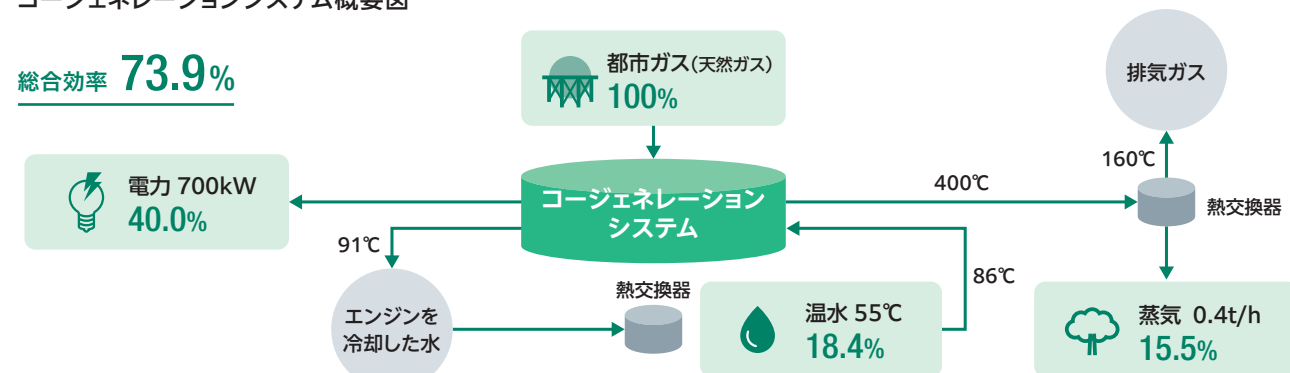
川崎エネルギーセンターでは当システムを導入し10年が

経過しましたが、適切なメンテナンス・運転管理を実施し高いエネルギー効率の稼働を維持しています。



ANA殿町ビジネスセンター

#### コージェネレーションシステム概要図



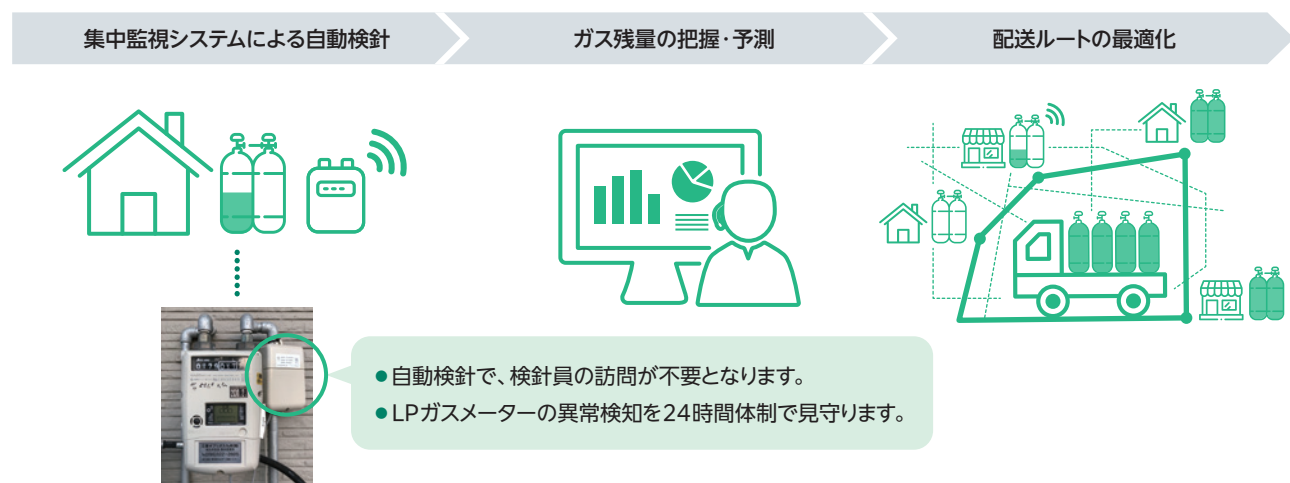
### LPWA※導入による配送・検針業務の効率化

ガス事業部

三愛石油(株)ガス事業部では、2020年5月よりLPWAを活用した自動検針システムの導入を開始しました。業務の効率化による働き方改革の推進を図るとともに、保安の高

度化および配送車の燃料削減による環境負荷低減に貢献します。

※ LPWA: Low Power Wide Area。長距離の通信を低消費電力で実現できる無線通信技術の総称。



## 労働慣行／人権

関連する  
SDGs



会社の財産は何よりも人です。会社の発展と個人の幸せの一致を図るため、社員教育やメンタルヘルスを含む健康経営への取り組みを実施するとともに、すべての人々の人格を尊重し、一切の差別やハラスメントをせず、個人のプライバシーを保護します。

### 人材育成

#### ■ 社員教育・研修制度

三愛石油(株)の社員教育は、経営理念である三愛精神のもと、自然豊かな熱海の山に所有している研修センターにて知識やスキルの習得だけでなく「心」を育てる研修を行っています。コロナ禍にあっても、研修をオンライン化し多様な

属性の社員が受講できる環境を整えています。また、通信教育などによる自己啓発を支援するとともに、大学への留学、研究機関での研修などを通し、視野が広く専門知識を持った人材の育成に取り組んでいます。

#### 2020年度 研修体系図

| 階層別研修                         |                                      | 能力開発・スキルアップ<br>選抜型研修 |                                                 | 資格取得研修                          | 社員教育<br>自己啓発     | 社員教育<br>本社勤務              |
|-------------------------------|--------------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------|------------------|---------------------------|
| 管理職                           | グループ会社出向者研修<br>3/25:8名               | 一般社員                 | 研修課オンラインサロン<br>月1回:32名                          | 3級自動車<br>整備士<br>※2020年は<br>開講せず | 国内留学・通信教育・eラーニング | 英会話 選抜型ビジネス<br>クラス(オンライン) |
|                               | 新任管理者研修(オンライン)<br>9/28-29:11名        |                      | トレーナー養成研修(オンライン)<br>11/21-22:12名                |                                 |                  |                           |
| 係長役研修(オンライン)<br>8/24-25:16名   | OJTリーダー研修(オンライン)<br>1/15:21名         |                      | 高圧ガス<br>販売2種<br>資格取得研修<br>(オンライン)<br>10/8-9:18名 |                                 |                  |                           |
| 3年目社員研修(オンライン)<br>1/25-26:13名 | 債権管理研修(オンライン)<br>7/27-28:24名         |                      |                                                 |                                 |                  |                           |
| 2年目社員研修(オンライン)<br>2/15:20名    | 安全運転講習<br>10/23:2名                   |                      |                                                 |                                 |                  |                           |
| 1年目社員研修(オンライン)<br>3/17:25名    |                                      |                      |                                                 |                                 |                  |                           |
| 新入社員(3年目)                     | 新入社員フォローアップ研修(オンライン)<br>11/26-27:25名 |                      |                                                 |                                 |                  |                           |
|                               | 新入社員研修(オンライン)<br>4/1-5/31:19名        |                      |                                                 |                                 |                  |                           |

#### 研修制度利用者の声 「国内留学制度」



国内留学制度により、早稲田大学 大学院 経営管理研究科を卒業しました。働きながらMBA取得を目指すことができるコースに入学し、2年間、平日夜間と土曜日に授業を受けました。実務で学んできた知識を基に、体系的にアカデミックな知識を習得できるチャンスに恵まれたことは幸いです。また、普段の業務では全くつながることのない社外の方とネットワークを構築することができた点もとても有意義でした。今後は、習得した知識や大学院で築いた人脈を今後の当社の発展に活かせるよう頑張りたいと思います。

三愛石油(株) 松永 浩二さん



## 労働慣行

### ■ 育児休業・介護休業制度の充実

三愛石油(株)では、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みとして、育児・介護と仕事を両立しやすい職場環境づくりにも努めています。育児休業制度に関しては、法定を上回る水準で制定しており、短時間勤務制度も活用しながら、育児と仕事を両立させている社員が活躍しています。

|          |                                                                                  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 育児両立支援制度 | 子どもが3歳になるまで取得できる休業制度。子どもが小学校2年生の終期まで1日2時間の勤務時間を短縮できる制度。                          |
| 介護休業制度   | 家族が常時介護の必要がある場合に通算93日間まで取得できる休業制度。家族が常時介護の必要がある場合には、利用開始から3年間1日2時間の勤務時間を短縮できる制度。 |

### ■ 育児休業制度(パパ休暇※)利用者の声



第4子誕生後、育児休業制度(パパ休暇)を利用しました。これまで男性は育休を取得しづらいイメージがありましたが、上司の勧めもあり取得させていただきました。休業中は子どもと向き合う時間を多く取れたことで、新たな気づきが生まれ有意義な経験となりました。業務調整などで上司や部下にフォローしていただき、感謝しています。

※ パパ休暇: ①出産直後の母子を支える、②母親の職場復帰をサポートする。2回に分けて育児休業を取得できる制度。

三愛石油(株) 児玉 維基さん

## 障がい者雇用 「わーくはぴねす農園」

三愛石油(株)では、障がい者雇用および活躍支援に取り組んでいます。安全・清潔に運営されている農園事業では、障がいのある方が安心して自分らしく働くことのできる就業環境が整えられています。



## 人権

### ■ 「発達障がいを理解する」管理職向けセミナー

発達障がいは、ストレスや職場不適應などの問題とも関係が深く、メンタルヘルス、障がい者雇用の両面から重要なテーマです。三愛石油(株)では、管理職向けに「発達障がいを理解する」ためのセミナーを開催しました。発達障がいと

その手がかりを正しく理解し、職場に求められる対応や支援にはどのようなものがあるか事例を交えた講義が行われ、118名が聴講しました。

## 健康経営

### 三愛石油グループ健康基本方針

私たちは、心と身体の健康を重要な課題として社員が働きやすい環境を整え、継続的で計画的な健康づくりを推進するとともに、一人ひとりが自らの健康意識を高め家族を含めた健康増進に積極的に取り組みます。

### 「健康経営優良法人2021」に三愛石油グループ3社が認定

三愛石油(株)は、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2021」の大規模法人部門に5年連続で認定されました。また、中小規模法人部門に佐賀ガス株式会社、三愛石油カスタマーサービス株式会社の2社が認定されました。

当社グループは、健康基本方針に基づき、健康経営を経営上の重点戦略として位置付け、生活習慣病の重症化予防や二次健診受診率の向上など各種施策を実施していきます。

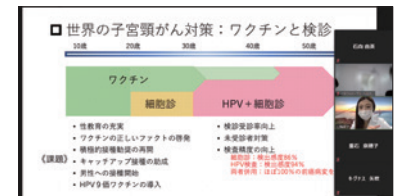


### ■ 健康経営戦略マップの策定

三愛石油(株)では、産業医、保健師とともに自社の課題を分析し、限りある人的資源を有効活用しながら重点課題に取り組むため「健康推進戦略マップ2021」を策定しました。従業員の身体的な幸福度を高めることで、集中力・生産

### ■ 子宮頸がんセミナー

20～40代の働く世代に罹患者の多い子宮頸がんについて学ぶセミナーを開催し、グループ会社を含め19名の女性社員が参加しました。セミナーでは、自宅のできる簡易検査キットを希望者へ配布し検診への動機付けを行うとともに、後日動画を配信し、全社員で内容を共有しました。



オンラインによる子宮頸がんセミナー

### ■ e-ラーニングを活用した教育

新型コロナウイルスの影響により、健康に関する集合型セミナーの実施が難しいため、e-ラーニング「健康経営ライブラリ」を導入し、グループ全体で健康リテラシーを高める取り組みを行いました。受講者は7回の講義で延べ6,343人となりました。

### 当社の課題と対応策

| 課題                | 対応策                                 | 最終目標                 |
|-------------------|-------------------------------------|----------------------|
| ① 生活習慣病対策／コロナ太り対策 | ファンケル健康動画配信<br>睡眠セミナー<br>ヘルスケア奨励金活用 | 身体的な幸福<br>集中力・生産性の向上 |
| ② 喫煙率の低減          | 禁煙外来<br>がん教育                        | 身体的な幸福               |
| ③ ストレス対策          | ストレスチェック<br>睡眠セミナー                  | 集中力・生産性の向上           |
| ④ 子宮頸がん啓発         | オンライン研修<br>(検査キット配布)                | 身体的な幸福               |
| ⑤ 有給休暇取得率向上       | 目標シートを活用                            | エンゲージメント向上           |
| ⑥ 睡眠              | 長時間残業是正<br>睡眠セミナー                   | エンゲージメント向上           |
| ⑦ 発達障がいへの理解       | 管理職向けセミナー                           | エンゲージメント向上           |





## 女性活躍推進

### ■ 女性活躍推進法に基づく行動計画

三愛石油(株)では、2016年4月1日から2020年3月31日までの期間において、「採用人数に占める女性比率を20%以上とする」、「女性管理職の数を倍増させる」という2つの目標を掲げ女性活躍推進法への取り組みを進めてきました。その内、採用人数に占める女性比率は2020年3月31日時点で22.6%を達成しました。

#### 2021年度～2023年度の行動計画

(計画期間：2021年4月1日～2024年3月31日)

**目標1** 総合職新卒採用人数に占める女性比率を30%以上にする

**目標2** 年次有給休暇取得の促進

#### 採用に占める女性従業員比率

|      | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度(見込) |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|
| 新卒   | 25.0%  | 15.0%  | 11.8%  | 17.4%  | 24.0%  | 23.3%      |
| キャリア | —      | —      | 0.0%   | 0.0%   | 16.7%  | —          |
| 全体   | 25.0%  | 15.0%  | 10.0%  | 11.8%  | 22.6%  | —          |

#### 管理職に占める女性比率

|  | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--|--------|--------|--------|--------|--------|
|  | 2.1%   | 2.1%   | 2.1%   | 2.1%   | 2.2%   |

### ■ キャリアアップ支援制度

三愛石油(株)では、女性社員の長期的・戦略的な仕事観の醸成やマネジメントスキルなどの能力開発を支援する制度を展開しています。

- 女性社員向け通塾型セミナー「立志塾」  
(一社)彩志義塾が主催する女性役員・幹部候補養成を目的とした通塾型セミナー
- 明治大学「女性のためのスマートキャリアプログラム」  
明治大学が開講する女性のキャリアアップを目的とした半年間のビジネスプログラム

### ■ 女性社員フォーラム

三愛石油(株)では、女性社員一人ひとりが個人の能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりに努めています。社員同士の意見交換・交流の機会として女性社員フォーラムを開催し、ライフプラン・キャリアプランの作成やワークショップを通してモチベーションの向上につなげています。



第3回女性社員フォーラム

## コミュニティへの参画

関連する  
SDGs



事業を通して社会に貢献する中で、良き企業市民として社会とのコミュニケーションを促進し、地域社会貢献活動に参画します。

### ■ 佐賀大学熱気球部の活動支援

三愛石油(株)

三愛石油(株)では、佐賀大学熱気球部へバルーン(熱気球)を寄贈しています。熱気球部の発足当時、バルーンがなく困っている学生へ貸与したことが始まりで、現在では佐賀インターナショナルバルーンフェスタのほか、積極的に全国の大会へ参加し活躍しています。



### ■ 東京都写真美術館に協賛

三愛石油(株)

東京都写真美術館は、日本初の写真と映像に関する総合美術館です。三愛石油(株)は、同館が新進作家の発掘と育成、国際交流の促進、国内関係先との交流を目的とした活動を数多く展開していることに賛同し、映像を中心とした文化価値の継承・発展と社会への貢献を目的に協賛しています。

### ■ 地域活性化への取り組み「まちづくり大井」

三愛石油(株)

三愛石油(株)では、特定非営利活動法人まちづくり大井の企業会員として、東京都品川区大井地区の地域活性化事業に協賛しています。定例会や地域清掃イベントへの参加、大井どんたく夏まつりへの協賛など、地域の発展とまちづくりの実現に取り組んでいます。

### ■ 「学生フォーミュラ日本大会」への協賛

キグナス石油(株)

キグナス石油(株)は、「学生フォーミュラ日本大会2021」に協賛しました。同大会は、学生が自ら構想・設計・制作した車両により、ものづくりの総合力を競い合うもので、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材育成を目的として開催されています。キグナス石油(株)は2012年よりスポンサーを継続し、次世代を担う人材の育成を支援しています。

### ■ 高知県高知市子どもまちづくり基金助成金事業「こうちこどもファンド」への協力

三愛石油カスタマーサービス(株)

三愛石油カスタマーサービス(株)では、高知県高知市子どもまちづくり基金助成金事業「こうちこどもファンド」へ2013年より協賛し、未来の高知市を担う子どもたちの自発的な活動を支援しています。

### ■ 特殊詐欺未然防止に協力

国際油化(株)

2021年4月、国際油化(株)オプリステーション精華町山手に併設するセブン-イレブン 精華町山手店において、同社社員が特殊詐欺被害を未然に防止した功勞により、京都府警察ならびに京都府木津警察署より感謝状が授与されました。国際油化(株)では、これまでも振り込め詐欺などの未然防止に貢献しており、今後も地域の安心・安全に寄与していきます。

### ■ 「市村自然塾 関東・九州」の活動に協賛

三愛石油(株)

市村自然塾は、リコー三愛グループの創業者である市村清の生誕100周年を記念し設立された特定非営利活動法人です。小学4年生から中学2年生までの塾生が、農作業を中心とした自然体験活動や共同生活を通して、規律性・自主性・創造性を伸ばします。三愛石油(株)は、同塾の活動を法人会員としてサポートしています。



自然体験活動の様子

### ■ 「高齢者の見守りに関する協定」を締結

三愛オブリガス三神(株)

三愛オブリガス三神(株)は、佐賀県神埼郡吉野ヶ里町と「高齢者の見守りに関する協定」を締結しています。本協定は、地域全体で高齢者などの見守りや声掛けを行い、異変を発見したときに迅速に対応できる体制の確立を目的としています。



締結式の様子

### ■ コンタクトレンズの空ケースリサイクル

三愛石油グループでは、コンタクトレンズの空ケースを回収し再資源化する「アイシティ eco プロジェクト」に取り組んでいます。回収されたコンタクトレンズの空ケースは、再資源化による環境保全、障がい者の自立・就労支援、日本アイバンク協会への寄付に役立てられています。





## 組織統治

関連する  
SDGs



経営の効率性と透明性の向上に努め、コンプライアンス経営に徹します。

また、業務の適正を確保するための体制を整備し、危険物を取り扱う企業として危機管理と事業継続計画の強化に努めます。

### 内部統制基本方針

三愛石油(株)は会社法および会社法施行規則に基づき業務の適正を確保するための体制について9つの項目で整備しています。

#### 内部統制基本方針

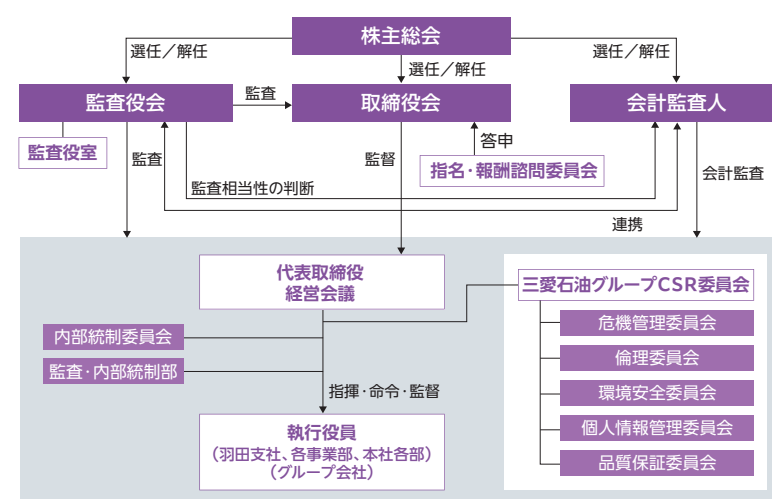
- 1 取締役・使用人の職務執行が法令・定款に適合することを確保するための体制
- 2 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する事項
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 4 取締役の職務の執行が効率的におこなわれることを確保するための体制
- 5 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- 6 監査役がその補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する体制  
ならびにその使用人の取締役からの独立性、および当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- 7 取締役および使用人が監査役に報告するための体制ならびに子会社の取締役、  
監査役および使用人が親会社の監査役に報告するための体制、  
また報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- 8 その他監査役の実効的におこなわれることを確保するための体制、  
および監査役の職務の執行について生ずる費用の処理に係る方針
- 9 反社会的勢力を排除するための体制

全文はホームページをご覧ください <http://www.san-ai-oil.co.jp/csr/regulation/>

### コーポレート・ガバナンス

当社グループでは実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制を構築し、その仕組みを重層的に運用することで業務の適正を確保しています。

#### コーポレート・ガバナンス体制図



| 重要会議の開催状況      | 2020年度 |
|----------------|--------|
| 取締役会           | 9回     |
| 監査役会           | 8回     |
| 常勤役員会          | 2回     |
| 常務会            | 7回     |
| 経営会議           | 33回    |
| 指名・報酬諮問委員会     | 2回     |
| 内部統制委員会        | 5回     |
| 三愛石油グループCSR委員会 | 4回     |
| 危機管理委員会        | 4回     |
| 倫理委員会          | 12回    |
| 環境安全委員会        | 5回     |
| 個人情報管理委員会      | 4回     |
| 品質保証委員会        | 6回     |

(注) 1. 2020年4月1日付で指名・報酬諮問委員会を設置しております。  
2. 2020年6月26日付で常勤役員会および常務会を廃止し、経営会議を設置しております。

#### 取締役会の実効性評価

三愛石油グループでは、取締役会が適正に機能しているかを定期的に検証し、課題の抽出および改善に努めています。詳細は、コーポレート・ガバナンス報告書にて開示しています。

#### 会計監査人

会計監査人は当社に対し独立の立場を保持しながら、監査役と緊張感のある協力関係のもとで、財務報告の信頼性を確保すべく監査の有効性および効率性の向上に努めています。

#### 社外取締役および社外監査役

社外取締役は、多様な知見・経験を活かして業務の執行に対し意見を述べ、重要な決定プロセスに関わっています。

また社外監査役は、取締役の職務の執行状況を把握するとともに、会計監査の適法性および財産の状況を公正な立場で調査しています。いずれの社外役員も東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定されています。

#### コーポレートガバナンス・コード

三愛石油(株)は2021年8月、東京証券取引所にコーポレート・ガバナンス報告書を提出し情報開示をいたしました。

<http://www.san-ai-oil.co.jp/csr/governance/>

#### 役員一覧 (2021年10月1日現在)



金田 準  
代表取締役会長



塚原 由紀夫  
代表取締役社長  
社長執行役員



早川 智之  
取締役  
専務執行役員  
羽田支社担当  
羽田支社長



大沼 尚人  
取締役  
常務執行役員  
経理部・  
経営企画部・  
情報システム部担当



大久保 宏次  
執行役員  
ガス事業部門担当  
ガス事業部長



志村 一郎  
執行役員  
石油事業部門担当  
石油事業部長 兼  
卸売販売部長



佐藤 孝志  
執行役員  
人事総務部・法務審査部・  
CSR推進部担当  
人事総務部長 兼  
法務審査部長 兼  
CSR推進部長



隼田 洋  
執行役員  
エネルギーソリューション  
事業部門担当  
エネルギーソリューション  
事業部長 兼  
化学品事業部門担当  
化学品事業部長



須藤 晃  
執行役員  
羽田支社業務部長 兼  
空港関連対策室長



水谷 知彦  
常勤監査役



上野 篤志  
常勤監査役

#### 社外取締役

高橋 朋敬  
取締役

鵜瀬 恵子  
取締役

中川 洋  
取締役

#### 社外監査役

豊泉 貴太郎  
監査役

渡邊 秀俊  
監査役

河野 博文  
監査役





## リスクマネジメント

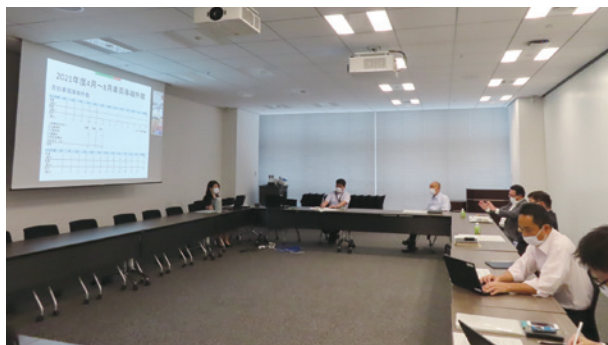
関連する  
SDGs



業務の適正を確保するための体制を整備し、  
危険物を取り扱う企業として危機管理と事業継続計画の強化に努めます。

### ■ 危機管理委員会

危機管理委員会は、平常時の安全管理、事故などの情報収集・分析、予防策の立案、継続的改善などについて調査・審議を行っています。また、地震や台風、大雨などの自然災害に備えたBCPの検討および各事業所の訓練実施に取り組み、適切な災害対策を講じています。



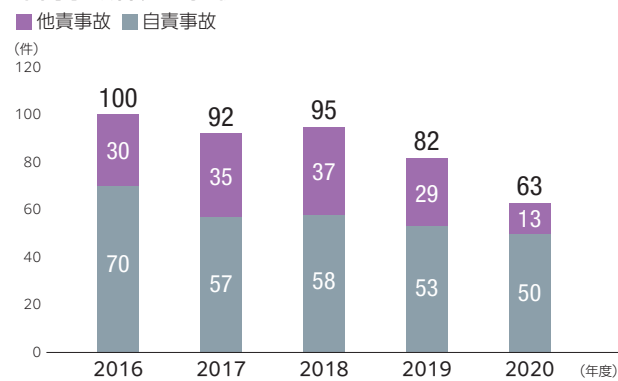
危機管理委員会風景

### ■ 車両事故撲滅への取り組み

三愛石油(株)の2020年度の車両事故件数は、前年度より19件減少し、63件となりました。内訳は、自責事故が前年度比3件減少、他責事故は16件減少となっています。2020年度は、無事故・無違反者を表彰する「車両安全運転表彰キャンペーン」、ドライブレコーダーから取得した走行データを基に運転の安全度を診断する「スマイリングロード」※の導入を進め、車両事故撲滅に向けて取り組みを強化しました。

※ 損害保険ジャパン(株)が提供する、企業向け安全運転支援サービス

#### 車両事故件数の推移



### ■ 新型コロナウイルス感染症拡大に対する取り組み

三愛石油(株)では、社員および関係者の健康・安全確保を最優先としつつ、事業継続への取り組みを行っています。在宅勤務・時差出勤の促進、会議や出張、懇親会などの自粛を継続し、感染拡大の抑止に努めるほか、希望者には新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施しました。今後も社会情勢を注視し、感染拡大防止に最大限努めていきます。

### ■ 環境安全監査

三愛石油グループでは、LPガスの充てん所やサービスステーションなど多くの危険物施設を所有しているため、独自の監査として環境安全監査を実施しています。2020年度は228ヶ所で監査を実施し、215件の指摘事項がありました。2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、遠方の施設はリモート監査を実施しています。

#### 2020年度 環境安全監査結果

| 関係法令    | 指摘件数 | 関係法令    | 指摘件数 |
|---------|------|---------|------|
| 消防法     | 83   | 労働安全衛生法 | 2    |
| 液石法     | 27   | 水質汚濁防止法 | 7    |
| ガス事業法   | 2    | 土壌汚染対策法 | 5    |
| 高圧ガス保安法 | 17   | 廃棄物処理法  | 14   |
| その他法令関連 | 33   | 自主基準    | 25   |
| 合計215件  |      |         |      |

#### 環境安全監査の推移

|        | 監査実施事業所数 | 指摘件数 |
|--------|----------|------|
| 2016年度 | 253      | 210  |
| 2017年度 | 248      | 343  |
| 2018年度 | 244      | 318  |
| 2019年度 | 230      | 179  |
| 2020年度 | 228      | 215  |

## コンプライアンス推進

関連する  
SDGs



「企業倫理・コンプライアンスの確立」を安定的な企業活動を行ううえでの基盤と位置付け、  
グループ全体でコンプライアンスの推進に取り組みます。

### ■ 倫理に関する「誓約書」

三愛石油グループは6月8日を「倫理の日」と定め、役員・全従業員が「倫理行動憲章」に基づき、誠実さと倫理観を持って日々の業務にあたることを経営責任者に誓約しています。

#### 三愛石油倫理行動憲章

私たちは、三愛精神にのっとり社会の発展に貢献し、より価値ある企業にするため、以下の5項目を基本姿勢とします。

私たちは誠実・正直に行動します。

私たちは法令、ルールを順守します。

私たちは自然環境・地域社会との関係を大切にします。

私たちは顧客の満足を追求します。

私たちは、自ら学び、自ら考え、自ら行動します。

### ■ 倫理委員会

コンプライアンス推進の要として、倫理委員会を毎月開催しています。倫理委員会は、コンプライアンスに関する情報

収集を行うとともに、倫理行動憲章の周知徹底をし、コンプライアンス違反による事件・事故を未然に防止することを目的としています。倫理委員が中心となって自部門の年間教育計画を策定し、人権問題やハラスメントをはじめとするコンプライアンス教育を実施しています。

### ■ 公益通報・相談窓口

不正行為などの早期発見と是正、コンプライアンス経営の強化を目的とし、公益通報・相談窓口(内部通報窓口)を設置しています。

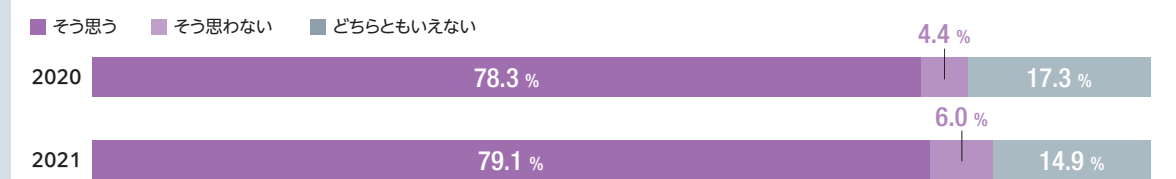
また、三愛石油グループでは「公益通報者の保護に関するガイドライン」を制定し、通報者が不利益な取り扱いを受けないよう徹底しています。

### ■ コンプライアンス意識行動調査

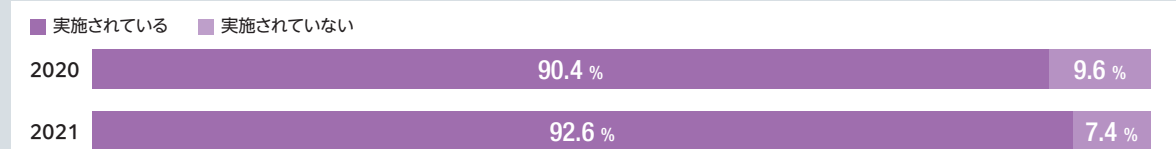
CSRの重点課題である「コンプライアンス意識の向上」への取り組みを強化するため、「コンプライアンス意識行動調査」を毎年実施しています。

#### 三愛石油(株)2021年度コンプライアンス意識行動調査 対象者511名 回答率100% 調査結果より一部抜粋

Q あなたの職場は、組織の垣根を作らず、自由で発想豊かなアイデアを出せる風通しの良い職場ですか。



Q あなたの職場では、コンプライアンスに関する倫理教育は実施されていますか。



三愛石油グループ  
16社で  
実施

財務データ



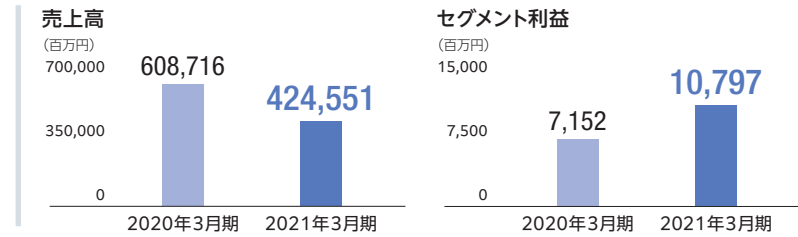
5年間の主要な経営指標等の推移

|                   |       | 2017年3月期         | 2018年3月期         | 2019年3月期         | 2020年3月期         | 2021年3月期         |
|-------------------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高               | (百万円) | 655,668          | 692,180          | 726,918          | 667,929          | 473,899          |
| 経常利益              | (百万円) | 9,844            | 12,814           | 12,000           | 11,940           | 10,001           |
| 親会社株主に帰属する当期純利益   | (百万円) | 5,939            | 8,069            | 7,260            | 8,164            | 7,053            |
| 包括利益              | (百万円) | 7,651            | 10,621           | 6,258            | 3,936            | 10,627           |
| 純資産額              | (百万円) | 82,750           | 93,460           | 96,941           | 98,786           | 106,468          |
| 総資産額              | (百万円) | 188,499          | 211,124          | 221,638          | 179,224          | 187,245          |
| 1株当たり純資産額         | (円)   | 1,155.02         | 1,268.53         | 1,325.27         | 1,349.61         | 1,471.07         |
| 1株当たり当期純利益        | (円)   | 83.96            | 114.54           | 103.61           | 117.02           | 101.57           |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | (円)   | -                | -                | -                | -                | -                |
| 自己資本比率            | (%)   | 43.2             | 42.3             | 41.7             | 52.5             | 54.2             |
| 自己資本利益率           | (%)   | 7.6              | 9.5              | 8.0              | 8.7              | 7.2              |
| 株価収益率             | (倍)   | 11.23            | 13.66            | 8.77             | 9.65             | 12.93            |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー  | (百万円) | 8,511            | 18,943           | 21,686           | △10,858          | 9,014            |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー  | (百万円) | △3,503           | △3,563           | △5,424           | △4,303           | △4,415           |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー  | (百万円) | △4,716           | △1,054           | △6,248           | △4,062           | △5,458           |
| 現金及び現金同等物の期末残高    | (百万円) | 32,217           | 46,542           | 56,551           | 37,326           | 36,467           |
| 従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕  | (人)   | 2,081<br>[1,335] | 2,058<br>[1,216] | 1,999<br>[1,207] | 1,995<br>[1,169] | 2,010<br>[1,239] |

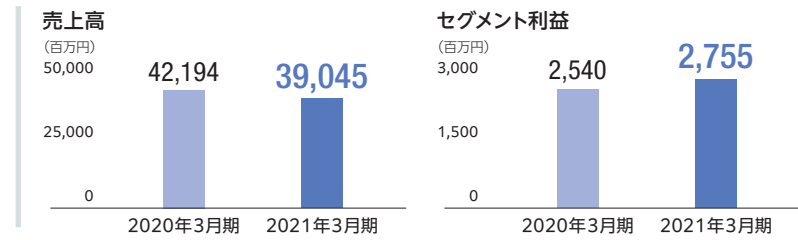
(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれていません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
3. 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期にかかる主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっています。

連結セグメント別事業概況

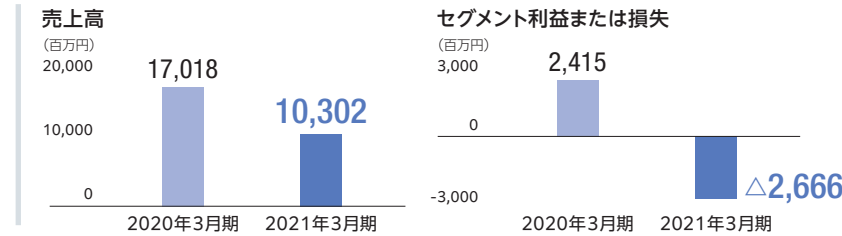
石油関連事業



ガス関連事業



航空関連事業他



(注)セグメント利益または損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

環境負荷データ

| INPUT          |        | 2019年度 | 2020年度 |
|----------------|--------|--------|--------|
| エネルギー使用量(原油換算) | (kl)   | 8,110  | 7,679  |
| 電力             | (千kWh) | 20,692 | 19,180 |
| ガソリン           | (kl)   | 652    | 620    |
| 軽油             | (kl)   | 1,169  | 1,261  |
| 灯油             | (kl)   | 204    | 181    |
| LPG            | (t)    | 250    | 218    |
| 都市ガス           | (千m³)  | 219    | 185    |
| その他            | (kl)   | 301    | 270    |
| 水使用量           | (千m³)  | 242    | 227    |
| コピー用紙使用量       | (t)    | 45     | 46     |

(注) 1. エネルギー使用量の「その他」は、川崎エネルギーセンターの自家使用分です。  
2. エネルギー使用量の原油換算は、省エネルギーセンター HP「エネルギー使用量の簡易計算表」を利用しています。  
3. CO2排出量は「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を、電力については、2016年度の電気事業者別排出係数(環境省・経済産業省)を使用して計算しています。

当社グループの使用人の状況

(2021年3月31日現在)

| 事業      | 使用人数           |
|---------|----------------|
| 石油関連事業  | 745 (1,131)名   |
| ガス関連事業  | 658 (63)名      |
| 航空関連事業他 | 538 (33)名      |
| 全社(共通)  | 69 (12)名       |
| 合計      | 2,010 (1,239)名 |

(注) 1. 使用人数は就業人数であり、臨時雇用者数は( )内に当連結会計年度の平均人員を外数で記載しています。  
2. 全社(共通)として記載されている使用人数は、特定のセグメントに区分できない管理部門に所属しているものです。



## 社会性データ

## 三愛石油(株)単体 雇用データ

|          |     | 2018年度 |      |      | 2019年度 |      |      | 2020年度 |      |      |
|----------|-----|--------|------|------|--------|------|------|--------|------|------|
|          |     | 男性     | 女性   | 合計   | 男性     | 女性   | 合計   | 男性     | 女性   | 合計   |
| 従業員数     | (人) | 414    | 55   | 469  | 427    | 55   | 482  | 429    | 55   | 484  |
| 平均年齢     | (歳) | 44.3   | 40.1 | 43.8 | 44.0   | 39.3 | 43.4 | 43.9   | 38.1 | 43.2 |
| 平均勤続年数   | (年) | 18.7   | 16.3 | 18.4 | 18.6   | 15.4 | 18.2 | 18.0   | 19.9 | 17.5 |
| 依願退職者数   | (人) | 18     | 1    | 19   | 14     | 1    | 15   | 10     | 6    | 16   |
| 離職率      | (%) | 4.2    | 1.8  | 3.9  | 3.2    | 1.8  | 3.0  | 2.3    | 9.8  | 3.2  |
| 定年退職者数   | (人) | 9      | 0    | 9    | 1      | 2    | 3    | 14     | 1    | 15   |
| 定年再雇用者数  | (人) | 7      | 0    | 7    | 1      | 1    | 2    | 12     | 1    | 13   |
| 再雇用嘱託社員数 | (人) | －      | －    | 30   | －      | －    | 25   | －      | －    | 29   |

|                  |     | 2018年度 |    |      | 2019年度 |    |      | 2020年度 |    |      |
|------------------|-----|--------|----|------|--------|----|------|--------|----|------|
|                  |     | 男性     | 女性 | 合計   | 男性     | 女性 | 合計   | 男性     | 女性 | 合計   |
| 新卒採用人数           | (人) | 15     | 2  | 17   | 19     | 4  | 23   | 19     | 6  | 25   |
| キャリア採用人数         | (人) | 3      | 0  | 3    | 11     | 0  | 11   | 5      | 1  | 6    |
| 合計               | (人) | 18     | 2  | 20   | 30     | 4  | 34   | 24     | 7  | 31   |
| 新卒採用人数に占める女性比率   | (%) | －      | －  | 11.8 | －      | －  | 17.4 | －      | －  | 24.0 |
| キャリア採用人数に占める女性比率 | (%) | －      | －  | 0    | －      | －  | 0    | －      | －  | 16.7 |
| 合計               | (%) | －      | －  | 10.0 | －      | －  | 11.8 | －      | －  | 22.6 |

|             |     | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------|-----|--------|--------|--------|
| 管理職に占める女性比率 | (%) | 2.1    | 2.1    | 2.2    |

### 三愛石油(株)単体 両立支援制度の利用者数

|                             |     | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 制度の概要                                                                                |
|-----------------------------|-----|--------|--------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 育児両立支援制度利用者数<br>(育児休業、育児時短) | (人) | 14     | 7      | 9      | 子どもが3歳になるまで取得できる休業制度。<br>子どもが小学校2年生の終期まで1日2時間の勤務時間を短縮できる制度。                          |
| 介護休業制度利用者数                  | (人) | 0      | 1      | 1      | 家族が常時介護の必要がある場合に通算93日間まで取得できる休業制度。<br>家族が常時介護の必要がある場合には、利用開始から3年間1日2時間の勤務時間を短縮できる制度。 |

### 三愛石油(株)単体 労働災害件数の推移

|        | 件数 | うち休業件数 |
|--------|----|--------|
| 2018年度 | 3  | 0      |
| 2019年度 | 4  | 0      |
| 2020年度 | 1  | 0      |

三愛石油(株)単体 有給休暇取得率

|               | 取得率   |
|---------------|-------|
| 2018年 1 ～ 12月 | 47.5% |
| 2019年 1 ～ 12月 | 48.8% |
| 2020年 1 ～ 12月 | 50.5% |



三愛石油グループ会社一覧(連結)

三愛石油株式会社

石油製品販売・受発注業

キグナス石油株式会社

キグナス興産株式会社

國際油化株式会社

東日本三愛石油株式会社

北陸三愛石油株式会社

三愛石油カスタマーサービス株式会社

LPガス販売業・配送業

三愛オブリガス東日本株式会社

三愛オブリガス播州株式会社

三愛オブリガス中国株式会社

三愛オブリガス九州株式会社

三愛オブリガス三神株式会社

キグナス液化ガス株式会社

中国三愛ガスサプライ株式会社

株式会社三愛ガスサービス

小倉エルピージー輸送株式会社

化学品製造販売業

三愛理研株式会社

航空燃料取扱業

三愛アビエーションサービス株式会社

株式会社KAFCO

神戸空港給油施設株式会社

都市ガス業

佐賀ガス株式会社

建設工事業

三愛プラント工業株式会社

保險代理業

株式会社ティー・アンド・ピー